

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jcpncc@cc-net.or.jp
No. 1928

田中 ひさ子
国松町 10-36
☎ 823-1714
寺本 とも子
豊里町 38-1-105
☎ 829-9424

中林 かずえ
宝町 4-33
☎ 839-2289

中谷 光夫
高宮 155-8
☎ 823-5947

松尾 信次
下木田町 12-6
☎ 821-7427

介護保険料、障害者施策 4月から 大幅な市民負担増に

すばる・北斗福祉作業所で 六人が退所に

寝屋川市でも、4月から市民への負担増が実施されようとしています

65歳以上の介護保険料は、月標準額で1300円の値上げで、39%もの負担増となります。この値上げで、全国平均より550円も高い保険料となりま

す。今年度からは、遺族年金・障害年金からも保険料が徴収されます。国民保険料は、医療費や介護納付金の増加などにより約一割の値

上げが見込まれています。保険料の値上げは、払いきくい状況をさらに拡大するものです。

障害者自立支援法により利用料が一部負担となりますが、重度の人ほど負担は重くなります。デイサービスやガイドヘルパーの利用料が増えます。

また、今まで無料だった人も作業所に通うことで約三万円の負担となります。

市立すばる・北斗福祉作業所では、負担増等を理由に6人の退所がありました。

横浜市では、低所得者の自己負担を全額市が負担、京都市も国基準の負担額を半分に軽減、東京都荒川区では、利用料負担を3パーセントに軽減するなど独自施策を実施しています。寝屋川市でも、独自の軽減制度がもたられます。

日本共産党 大型開発見直し 負担増中止もとめる

また、市営葬儀の民営化が、自治会や市民に説明もなく、意見も聞かず進められています。

04年度では8割もの利用があった一級5万円を基本にすれば花代などを入れても7、8万円のもの14万7000円と約2倍の負担増になります。

緊急通報システムは、昼間独居の人にも利用できるようになり

ましたが、新設の際、2000円の負担が必要となります。

日本共産党は、駅前再開発など大型開発を見直し、市民のくらしや福祉を守るための施策の拡充を市にもとめ、市民の負担増をやめるように市議会ですべて主張しています。



4月、新年度になり、子ども達にも新しい出会いがあります。保育所では、子ども達は、幼いなながらも保護者から離れ、子ども達の社会に入り、先生達や、保育所での一日のながれに慣れるまでが大変です。少子化の中で寝屋川市として子どもを安心して生み育てられることがもとめられています。新聞の世論調査では、少子化に歯止めをかける政策は、「子育てしやすい労働環境」が必要だと考える人が4割近く。経済支援策では、20代から40代は「保育・教育費補助」が半数を超えています。▼淡路島の五色町は、80年代から12事業所を誘致、約700人の雇用を生みだし、住宅整備でも町営住宅約360戸が新設され、落ちこんだ人口は18年ぶりに回復し、子供も増えています。行政の担当者は、「企業誘致と住宅整備、保育の充実など一体的な取り組みが成果につながった」と話します。▼寝屋川市は、若い世代が他市へ転出する人が増えています。子育てしやすい条件の整備がもとめられています。今こそ、市は施策を充実すべきです。

第23回 大阪 赤旗まつり

“憲法9条守り、国民中心の新しい政治実現へ、心あわせて”

5月20日(土)・21日(日) 堺市・大泉緑地
午前10時半～午後4時

21日 日本共産党委員長・衆議院議員
志位 和夫

20日 中国長城楽団 (中国民族音楽)
ヤスコ(シャンソン)
21日 しゅうさえこ(うた)
播本晃三(テノール)

- いっせい地方選挙候補者勢ぞろい
- 文化行事や全国物産展など多彩な催し

福祉・教育の後退やめよ 社会保障推進協議会が 市と懇談

切実な要求 あいついで出される

3月30日、寝屋川
社会保障推進協議会が
市と懇談を行いました。

教育では、「学校給
食自校直営方式を守る
こと」「学校選択制は
やめること。英語教育
よりも30人学級の実
現を。学校現場の声を
聞くこと」。

高齢者家族からは、
「4月から39%の値
上げの介護保険料は、
年金から引かれると生
活がとても苦しい」、
「せめて保険料・利用
料の減免をしてほし
い」新予防給付につい
ては、「値上げのうえ、

サービスは悪くするこ
とは許されない」とい
う怒りの声が大々され
ました。

また、国民健康保険
については、保険料が、
払いたくても払えない
状況から考えても未納
者も減免の対象にすべ
き」との声がありまし
た。

また、障害者とも
に参加した家族から
は、「訓練を週に2回
受けている。訓練を怠
ると、息が苦しくなり
てんかんが起きる、脳
神経、整形、眼科、内
科と病院通いで母親は
働きに行けない。自立
支援法で負担がたいへ
ん。市は、独自減免を
すすめてほしい」と切
実に訴えておられまし
た。

市と懇談中の市民



懇談には、田中ひさ
子市会議員が参加しま
した。

就学援助の申請はお早めに

4月3日から28日
まで就学援助の受付が
行われています。

寝屋川市立・中学校

の児童生徒のおられる
世帯で認定基準以下の
場合、就学援助が受け
られます。

詳しくは、寝屋川市

教育委員会教育総務課
までお問い合わせ下さ
い。

法律相談

とき: 4月20日(木) PM6:30~
ところ: 寝屋川市民会館第3・4会議室
☎824-1181(内2399)

弁護士がご相談にのり
ます。遠慮なくお越し
ください。
お問い合わせは市会議員団まで

行政が公的責任はたせ 民営化に市民から意見

市は、アウトソーシ
ング計画を策定しまし
た。

素案のパブリックコ
メントが3月1日〜2
0日まで行われ、その
結果が3月末に明らか
になりました。

「証明書発行コーナ
ー、市税収納、国民健
康保険の窓口受付業務
は、個人の情報を扱う
業務であり、個人情報
保護の点からもやるべ
きでない」「全体的に
『財政支出削減ありき』
である。営利優先の民
営化は容認できない。

計画は06年度から
実施が多く、市民の意
見を無視して進めるこ
とは問題です。

議員日誌



田中 ひさ子

4月1日、寺田安
雄さん(元市会議員)
をしのぶ会が行われ
ました。

議長もつとめられま
した。参加者から寺
田さんの活動や人柄
についての思い出話
があいついで出され
ました。

私も、寺田さんの
活動に学び、日々の
議員活動に努力した
と思います。